

た。餌をつけたり、はずしたりする作業は、こちらがまごまごしていると、何回となく、面倒がらずにやってくれたのには大助かりであった。彼にしてみれば、それによってゆっくり楽しむ時間をスポイルされたことであろうが、まるで親が子になんでもしてやるのが嬉しいかのようであった。

その日は、なにしろよく釣れた。投げ入れると、餌が水中で口をあけて待っているハゼの中にストレートに入ってしまうのではないかと思うくらいだった。贅沢な話したが、こうも次から次へと釣れ、餌をつける手間がもどかしいくらいだと釣りの醍醐味を味わえない気がした。最近、汚染された海で釣れるハゼの中には尾のないものや、背骨の曲ったものも多いというが、その日に釣り上げたものの中には奇形のもは一尾もいなかった。だとすれば、ここ数年で急速に汚染度が進んだのであろうか。公害が、釣り人の獲物にまで及んでしまえば、後味が悪くて、興味は半減してしまう。

昼には山田君の奥さんの手づくりの弁当で憩の一時を過ぎた。四方山話しをしていても森川君の話し方は悠揚せまらず、淡々としていて大人の風格があった。午後も釣ったが相変わらずよく釣れた。釣れたハゼは、森川君があらかじめ用意してくれたぶつかき氷を入れたビニール袋りに片っぱしから入れた。

この日は別に上手、下手の区別なく、4人とも同じくらい釣り上げた。4時頃まで釣って、まだ日の高いうちに竿をしまった。それ以上釣れては処分に困るからである。山田君の家には猫が10匹ほどいるからその餌にすれば、さばけもしょうが、わが家ではそうはいかない。向う三軒両隣りに進呈するにはハゼでは役不足である。帰宅してテンブラにして食べたが新鮮でうまかった。しかし食べすぎて当分ハゼの顔をみるのも、げんなりするほどであった。当日は森川君に一切切面倒をみてもらい、こちらはでんとかまえた殿様みたいな身分だったから森川君の親切には身にしみた。今度は、もう一ランク上の魚を釣る手ほどきを約しながら帰路についたが、森川君は現われた時と同じように、いずれともなく立ち去っていたのがきわめて印象的であった。

森川喜美雄論文目録

☆ ブルードン研究

① 平等の原理による私有財産批判

『専修大学論集』28号(62年2月)

② ブルードンとマルクス

— ブルードン『貧困の哲学』を中心として —

共著『「資本論」の成立』所収(岩波書店・66年)

③ シュティルナー『唯一者とその所有』とマルクス

— 『ドイツ・イデオロギー』におけるブルードンの問題 —

『社会科学年報』4号(70年)

④ 『ドイツ・イデオロギー』におけるブルードンの問題

「社研月報」56号(68年5月)

⑤ 『要綱』におけるブルードンの問題

「社研月報」64号(69年1月)

⑥ 『哲学の貧困』『アネンコフの手紙』

— マルクス・コンメンタール その⑨ —

『現代の理論』87号(71年4月号)

⑦ 「リブライ」

(第6論文に対する今村仁司氏のコメントへ)

共著『マルクス・コンメンタールⅢ』所収(現代の理論社・72年)

☆

⑧ ブルードンとヒルデブラント

『社会科学年報』7号(73年3月)

☆ 疎外論研究

⑨ 『資本論』における疎外と物象化について

— 疎外論的アプローチと経済学的分析との問題 —

『専修経済学論集』1号(65年5月)

⑩ マルクスの「疎外」の問題

— 『資本論』といわゆる初期マルクスとの関連 —

「専修大学現代文化研究所月報」14号(66年3月)

⑪ 疎外の問題覚え書

「社研月報」9号(46年6月)

- ⑫ 『資本論』における疎外と物象化について
『社会科学年報』1号(66年)
☆ アナーキズム研究
- ⑬ カミュにおける「反抗」の意味(1)(2)
——アナーキズムの問題を中心としたカミュニサルトル論争の考察——
『社研月報』77/78号(70年2/3月)
- ⑭ サルトルにおける人民戦線の諸問題(1)(2)
『社研月報』92/93号(71年5/6月)
☆ 書評
- ⑮ 内田芳明『ヴェーバー社会科学の基礎研究』書評
『社会科学年報』4号(70年3月)
☆
- ① 早稲田大学卒業論文
「ヘーゲル『精神現象学』における二重性について」(53年)
- ② 専修大学大学院修士論文
「ヘーゲル『市民社会』の論理」(57年)
- ③ 専修大学大学院博士課程提出論文
「マルクス初期経済学研究」
——主として『経済学・哲学手稿』および『哲学の貧困』におけるブルードン主義との対決——(61年)

森川喜美雄略年譜

- 昭和3年 千葉県成田市三里塚に生まる
- 昭和16年 千葉県立佐倉中学校入学
- 昭和23年 同校卒業
- 昭和23年 早稲田大学高等師範部社会教育科入学
- 昭和24年 同校教育学部社会科入学
- 昭和28年 同校同部同科卒業
- 昭和30年 専修大学大学院修士課程経済学研究科入学

昭和32年 同大学院博士課程経済学研究科入学

昭和36年 専修大学助手

昭和37年 同講師

昭和41年 同助教授

昭和47年 同教授

昭和48年 2月14日、冠状動脈血栓症にて急逝

なお、この間、昭和34年2月22日、小堺桂子さんと結婚。昭和36年7月24日、長男健君誕生。

〔所 報〕

- 第2回定例研究会〔10月14日(土)、正午より、神田如水会館〕
柴崎希美夫氏(食品需給研究センター主任研究員)「最近の食品流通問題——特に生鮮食品の流通について——」
- 第5回事務局会議〔10月17日(火)、経済学部教授会終了後、生田図書館5階集会室〕
議題：①資料交換先について ②「産構研」研究活動について ③新特定研究について ④その他、なお、泉武夫編集部員(の教員組合委員選出)に代って9月1日より土方保所員が編集部担当となった。
- 「産構研」メンバー会議〔10月26日(木)、正午～午後1時、生田図書館5階集会室〕
議題：①昭和46年10月～昭和47年9月迄の研究活動報告および決算報告 ②同47年10月以降研究活動計画案および予算案 ③その他
- 第2回運営委員会ならびに第6回事務局全体拡大会議〔11月14日(火)、午後4時より、生田図書館5階集会室〕
議題：来年度新特定研究『国際環境に関する基礎的研究』への取組みについて
- 第5回帝国主義研究会〔11月27日(月)、午後6時より、神田学士会館〕
議題：成果刊行予定について
- 第3回運営委員会ならびに第7回事務局合同会議〔12月2日(土)午後1時より、神田学士会館〕
議題：①定例総会準備について ②新特定研究について ③その他
- 第20回定例所員総会〔12月16日(土)、午後1時半より、生田図書館5階集会室〕
議題：①事務局(一般・各部)報告 ②本年度研究経過報告案ならび予算執行状況報告案
③来年度研究活動計画案および予算請求案 ④代表平館利雄所員「中ソ論争とその国